

バックアップする

(Sprite Backup)

バックアップは、本製品に保存しているデータ（☞ 下記「バックアップできないデータ」以外のデータ）を1つのファイル（バックアップファイル）として miniSD カードまたは本体にバックアップします。

miniSD カードを取り付けているときは自動的に miniSD カードにバックアップし、miniSD カードを取り付けていないときは本体メモリにバックアップします。

また、miniSD カードまたは本体にバックアップしたファイルを本体に復元します。

バックアップ／復元には「基本モード」と「拡張モード」の2つのモードがあり、目的によって使い分けができます。

- ・「基本モード」は、この製品に保存しているデータ（☞ 下記「バックアップできないデータ」以外のデータ）をバックアップします。また、一番新しいバックアップファイルを復元します。
- ・「拡張モード」は、指定したフォルダやファイルだけをバックアップします。また、複数のバックアップファイルがあるとき、バックアップファイルを選択して復元できます。

●バックアップできないデータ

以下のデータはバックアップできません。

- ・ PIN 認証設定
- ・ APN 設定

●Sprite Backup の動作やバックアップファイルの保存に必要な空き容量

Sprite Backup 動作

本体メモリに約 10MB の空きが必要です。

miniSD カードにバックアップファイルを保存するとき

「データ記憶用の使用領域（使用している容量）」 + 「約 5MB」の空き容量が必要です（データ記憶用の使用領域は、**スタート** - **設定** - **システム** タブ - **メモリ** をタップして表示されるメモリ画面（**メイン** タブ）で確認できます）。

本体メモリにバックアップファイルを保存するとき

Sprite Backup 動作用のメモリ（約 10MB） + 「データ記憶用の使用領域（使用している容量）」 + 「約 5MB」の空き容量が必要です。


※設定（☞9-10 ページ）によってはデータを圧縮してバックアップファイルを作れますが、保存しているデータによって圧縮率が異なるため上記の空き容量を確保することをおすすめします。

●復元について

復元は、本体メモリにバックアップファイル内のファイルを上書きします。本体メモリに同じファイル名のファイルがある場合は、バックアップファイル内のファイルに置き換わります。

※バックアップした後に画像ファイルや Word Mobile などのファイルを本体に保存するとバックアップファイル内にないファイルが存在し、復元を行ってもそのファイルは本体メモリに残ります。

！ **ご注意** ● バックアップを行う前に、すべてのプログラム（ホームページ閲覧、連絡先などのデータ入力など）を終了してください。

- バックアップ中や復元中には、次のことを行わないでください。
 - ・ プログラムを起動するなどこの製品を動作させないでください。また、アラームなど自動的に起動する設定は、設定を解除した後にバックアップを行ってください。
 - バックアップ中にプログラムを起動すると、中途半端な状態のデータをバックアップすることがあります。
 - ・ 通信（ワイヤレス LAN、HSDPA 通信、Bluetooth）を行わないでください。
- 復元中に、復元を中止（キャンセル）しないでください。中止したときは、システムが不安定な状態になることがありますので、いったん、完全消去（フォーマット）した後、再度、復元してください。
- 本体の動作が不安定な状態でバックアップは行わないでください。壊れたファイルをバックアップすることがあります。このバックアップファイルを復元すると不安定な状態を復元することになります。
- 本製品にカードリーダーなどの USB 機器を接続した状態でバックアップや復元を行わないでください。
- プロテクトがかかっているデータやプログラム、著作権情報付きの音楽データなどを含んでいるバックアップファイルを復元した場合、これらのデータは復元できないことがあります。
プログラムやデータ提供元にご確認の上、パソコン等に保存するようにしてください。
- バックアップや復元を行うときは、AC アダプタを接続してからバックアップや復元を行ってください。
- バージョンが違う本製品のバックアップファイルを復元することはできません。本製品のバージョンは、**スタート** - **設定** - **システム** タブ - 
SO1SH 情報をタップして表示される SO1SH 情報画面で確認できます。

「基本モード」でバックアップする

本製品に保存している全データをバックアップします。



1 miniSD カードにバックアップファイルを保存する場合、本体に miniSD カードを取り付けます (1-57 ページ)。

2 Today 画面を表示し、 :OFF  :OFF  :ON をタップしてすべての項目を OFF にして、**ok** をタップします。

再起動時にパスワードを入力するように設定していた場合、手順 **7** と手順 **8** のリセット後、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力し画面左下の「**ロックの解除**」をタップします。パスワード入力画面を表示したくないときは、パスワード画面 (10-7 ~ 8 ページ) で「パスワード入力が必要になるまでの時間」のチェックを外し、**ok** をタップします。

MEMO

- パスワード入力画面が表示される設定のままバックアップを行った場合、手順 **7** のリセットの後、パスワード入力画面が表示され、この画面のままにしておくとバックアップが中断します。パスワード入力画面でパスワードを入力してロックを解除してください。
- PIN コードを設定している場合は、PIN ロックの設定を解除してください。

3 「スタート」メニューの  “プログラム” をタップし、プログラム画面で  “Sprite Backup” をタップします。



4 「**即時バックアップ**」をタップします。

MEMO

- miniSD カードを取り付けていないときは、「**即時バックアップ**」をタップすると手順 **4** の後に確認画面が表示されますので、「**はい**」をタップします。

- 5** 表示されたパスワード入力画面で、パスワード（半角英数字 6 文字以上 15 文字以下）を入力します。確認の入力欄にも同じパスワードを入力し、画面左下の **OK** をタップします。

このパスワードはバックアップファイル用のパスワードで、バックアップファイルごとに設定できます。

MEMO • パスワードは、バックアップファイルを復元するときに必要になります（☞ 次ページ、9-9 ページ）。入力したパスワードは忘れないようにしてください。

- 6** 表示された確認画面の内容をご覧になり、画面左下の **OK** をタップします。

- 7** 自動的にリセットが行われ、バックアップが始まります。

- 8** バックアップ終了後、自動的にリセットが行われます。

- 9** しばらくすると Today 画面が表示されます。さらにしばらくすると「バックアップが完了しました。」の画面が表示されます。

- 10** **OK** をタップすると、一連の動作が終了します。

レポート表示 をタップするとバックアップの作業内容が表示されます。本体のデータは、1つのバックアップファイルとして miniSD カードに保存されます。miniSD カードを取り付けていないときは、本体メモリに保存されます。

1 目のバックアップファイル名は、Backup_YYYY-MM-DD となります。たとえば、2007 年 11 月 10 日にバックアップを行うと、「Backup_2007-11-10」となります。同じ日にバックアップを行うと、「Backup_2007-11-10_1」となり「_1」が付きます。さらにバックアップを行うと、「Backup_2007-11-10_2」となり最後の数字が増えていきます。

MEMO • バックアップ時、バックアップファイルを圧縮する／しない、暗号化する／しないなどを設定できます。各種設定については、9-10 ページをご覧ください。



「基本モード」でバックアップしたデータを復元する

「基本モード」でバックアップした一番新しいバックアップファイルを復元します。すでに複数のバックアップファイルがあり、この中から1つのバックアップファイルを指定して復元する場合は、「「拡張モード」で復元する」（☞9-9 ページ）をご覧ください。

1 バックアップファイルを保存している miniSD カードを本体に取り付けます。

本体に保存しているバックアップファイルを復元するときは、手順 **2** から始めます。

2 ワイヤレス機能をオフにしたり、再起動時にパスワードを入力する設定を無効にするときは 9-4 ページの手順 **2** をご覧ください。

3 **スタート** メニューの  “プログラム” をタップし、プログラム画面で  “Sprite Backup” をタップします。

4 **即時復元** をタップします。

5 パスワード入力画面で、バックアップ時に入力したパスワードを入力し、画面左下の **OK** をタップします。

6 表示された確認画面の内容をご覧になり、**OK** をタップします。

7 自動的にリセットが行われ、復元が始まります。

8 復元完了後、自動的にリセットが行われます。

9 しばらくすると Today 画面が表示されます。さらにしばらくすると「復元が完了しました。」の画面が表示されます。

10 **OK** をタップすると、一連の動作が終了します。

レポート表示 をタップすると復元の作業内容が表示されます。

MEMO

- 復元前と復元後のデータについて
 - ・ 連絡先や予定表、設定（一部除く）などのデータは、バックアップファイルの内容に置き換わります。
 - ・ 画像ファイルや Word Mobile、Excel Mobile などのファイルは、復元するファイルと同じファイル名があるときは上書きし、同じファイル名がないときは、そのまま残ります。9-3 ページの「復元について」もご覧ください。

「拡張モード」でバックアップする

「拡張モード」は、指定したフォルダやファイルだけをバックアップします。



1 miniSD カードにバックアップファイルを保存する場合、本体に miniSD カードを取り付けます。

2 Today 画面を表示し、 : OFF  : OFF  : ON をタップしてすべての項目を OFF にして、**ok** をタップします。

再起動時にパスワードを入力するように設定していた場合、リセット後、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力し画面左下の **ロックの解除** をタップします。パスワード入力画面を表示したくないときは、パスワード画面 (10-7 ~ 8 ページ) で「パスワード入力が必要になるまでの時間」のチェックを外し、**ok** をタップします。

MEMO

- パスワード入力画面が表示される設定のままバックアップを行った場合、リセット後、パスワード入力画面が表示され、この画面のままにしておくとバックアップが中断します。パスワード入力画面でパスワードを入力してロックを解除してください。
- PIN コードを設定している場合は、PIN ロックの設定を解除してください。

3 **スタート** メニューの  “プログラム” をタップし、プログラム画面で  “Sprite Backup” をタップします。

Sprite Backup が起動します。

基本モード画面が表示されたときは、**オプション** - **拡張モードへ切り替え** をタップし、表示された確認画面で **OK** をタップします。

4

拡張モード画面で、バックアップするフォルダやファイルにチェックを付け **[...]** をタップします。

[+] をタップするとその下の階層にあるフォルダが表示されます。

チェックを付けた項目をバックアップします。



タップすると、バックアップファイルの説明(コメント)を入力できます。

MEMO

• 「Eメール」フォルダは、メール (Outlook) のデータです。SHメールのデータは選択できません。

5

「名前」欄に、ファイル名を入力します。

また、必要に応じて場所 (My Documents (本体) または miniSD カードの選択)、フォルダの選択、バックアップファイルの説明を入力して画面左下の **[OK]** をタップします。

MEMO

• 本製品の USB ポートに USB メモリなどのデバイスを接続していると、そのデバイスを保存先として選択できますが、デバイスによってはバックアップできないことがありますので、保存先は、本製品のメモリまたは、本製品に接続した miniSD カードを選択してください。

6

拡張モード画面に戻りますので、画面左下の **[バックアップ]** をタップします。

7

表示されたパスワード入力画面で、パスワード (半角英数字 6 文字以上 15 文字以下) を入力します。確認の入力欄にも同じパスワードを入力し、**[OK]** をタップします。

このパスワードはバックアップファイル用のパスワードで、バックアップファイルごとに設定できます。

MEMO

• パスワードは、バックアップファイルを復元するときに必要になります。入力したパスワードは忘れないようにしてください。

8

以下、9-5 ページの手順 6 以降と同様にしてバックアップを行います。

「拡張モード」で復元する

バックアップファイルが複数ある場合、この方法でバックアップファイルを選択し復元します。

- 1 バックアップファイルを保存している miniSD カードを本体に取り付けます。
本体に保存しているバックアップファイルを復元するときは、手順 **2** から始めます。
- 2 Sprite Backup 画面（「拡張」モード）を表示し、画面右下の **オプション** → **復元** をタップします。
- 3 **...** をタップします。
- 4 表示された画面で、バックアップファイルを選択し画面左下の **OK** をタップします。

MEMO • リストには、miniSD カードと本体に保存しているバックアップファイルの両方が表示されます。

- 5 表示された画面で、パスワードを入力して **OK** をタップします。
入力するパスワードは、バックアップを行ったときに入力したパスワードです。
- 6 Sprite Backup 画面（「拡張」モード）に戻りますので、画面左下の **復元** をタップします。
- 7 以下、9-6 ページの手順 **6** 以降と同様にして復元を行います。
復元前と復元後のデータについては、9-6 ページのメモをご覧ください。

バックアップ時の設定を行う

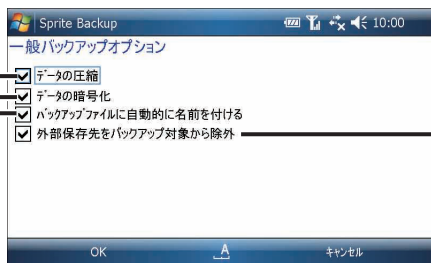
バックアップ時、圧縮や暗号化してバックアップファイルを作ったり、自動的にバックアップファイル名を付ける設定などができます。

一般バックアップオプション

拡張モード画面で、**オプション** - **バックアップ・オプション** - **一般バックアップオプション** をタップします。

圧縮してバックアップファイルを作ります。

バックアップファイルを暗号化します。
※このチェックは外さないようにしてください。



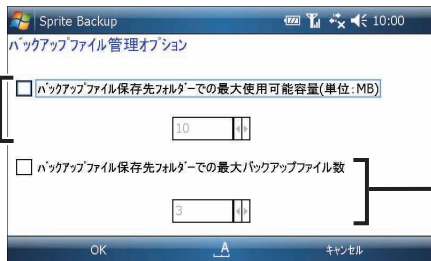
バックアップファイルに外部保存先を除外する／しないを設定します。

バックアップ時、自動的にファイル名（「Backup_YYYY-MM-DD」）を付けます。（たとえば、2007年11月10日にバックアップを行うと、「Backup_2007-11-10」となります。同じ日に再度バックアップを行うと、「Backup_2007-11-10_1」となり「_1」が付きます。さらにバックアップを行うと、「Backup_2007-11-10_2」となり最後の数字が増えていきます。）

バックアップファイル管理

オプション - **バックアップ・オプション** - **バックアップファイル管理** をタップします。

保存先フォルダの容量の上限を設定します。バックアップ実行時、新規ファイル作成のために十分な空きスペースがない場合には、日付が一番古いファイルから削除し、十分な空き容量が確保できてからバックアップを実行します。



バックアップファイル数の上限を設定します。フォルダ内のファイル数が最大になっているときは、日付が一番古いファイルを削除し新しいファイルを保存します。

除外ルール

バックアップ時、除外ルールのリストに表示されているファイルをバックアップしないようにします。

オプション - バックアップ・オプション - 除外ルール をタップします。

「除外ルールの使用」にチェックを付けます。

+ をタップして表示された画面で除外するファイル名などを入力し、画面左下の **OK** をタップします。ファイル名を入力するとき、「¥temp」など階層（ディレクトリ）も入力します。



+ をタップして入力したファイル名などが表示されます。

MEMO

- 除外ルールのリストにある「Sprite Backup ファイル」は、Sprite Backup でバックアップしたファイルのことです。
- プログラムなど (*.EXE、*.DLL) を除外するときは、除外ルール画面の **オプション** - **除外プログラム** をタップします。
- 除外ルールのリストにあるファイルなどを外すときは、リストから項目を選択し、**-** をタップします。
「Sprite Backup ファイル」を外したあと、再度、リストに入れる場合は **オプション** - **除外 Sprite Backup ファイル** をタップします。

基本モードのオプションメニュー

オプションをリセットする	拡張モードで設定したバックアップオプションをリセットする。
登録する	ネットワーク接続中に、 オプション - 登録する をタップし、表示された画面で名前やメールアドレスなどを入力して画面左下の OK をタップすると、Sprite Software 社に登録が行なわれる。登録後、Sprite Software 社から各種情報が送られてくる。
バージョン情報	バージョンを表示する。
ヘルプ	ヘルプを表示する。
拡張モードへ切り替え	拡張モードへ切り替える。
終了	Sprite Backup を終了する。

拡張モードのオプションメニュー

復元	拡張モードで復元を行う。
バックアップオプション	バックアップ時、データの圧縮や暗号化などの設定を行う (☞9-10 ~ 11 ページ)。 オプションをリセットするときは、 オプションをリセットする をタップする。
バックアップ履歴表示	バックアップを行った履歴を表示する。
登録する	ネットワーク接続中に、 オプション - 登録する をタップし、表示された画面で名前やメールアドレスなどを入力して画面左下の OK をタップすると、Sprite Software 社に登録が行なわれる。登録後、Sprite Software 社から各種情報が送られてくる。
バージョン情報	バージョンを表示する。
ヘルプ	ヘルプを表示する。
基本モードへ切り替え	基本モードへ切り替える (☞9-4 ページ)。
終了	Sprite Backup を終了する。